

平成26年度文部科学省指定 スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

## 2015 SGH通信

【2年生配布用】

No23 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

## 2年間のSGHの集大成

## 英語プレゼン学年発表会を開催します!!

皆さんがこの2年間取り組んできたSGH課題研究も、あと残りわずかとなりました。英語プレゼン発表会がその集大成となります。この発表会のために、1月から英語論文を作成し、プレゼンの練習を重ねクラスごとでの発表会を行いました。その中で、皆さんが選んだクラスの代表者による発表会です。

代表者は「2年間の研究成果」と「情熱」を7分間という時間に入れて、全力で伝えてくれるものと期待しています。代表者以外の皆さんはその全力の思いを「傾聴」「質疑」という形で応えることとなります。そういう意味でも発表会は、代表者だけが主役ではなく、2年生全体で創り上げるものと言えます。

皆さんがこの2年間で学んだこと、得たことを、この発表会の中で、最高のパフォーマンスとして表現してくれることを期待しています。

## 〈 英語プレゼン学年発表会要項 〉

期日 3月22日(火) 1・2限

日程 8:45~8:50 開会 諸連絡  
8:50~10:20 クラス代表発表、質疑応答  
10:20~10:30 評価表回収 閉会



## 英語プレゼン発表者

GRADE	CLASS	NAME	氏名	5領域	タイトル
2	1	Shunsuke Ito	伊藤 駿介	環工	マレーシアの太陽光発電効率化 -太陽光発電の在り方の提案-
2	2	Takeshi Kodama	児玉 武史	環工	インドネシア、フィリピンの災害対策 -日本の技術を応用して-
2	3	Shota Ando	安藤 祥太	環工	カンボジアに対する水道技術対策支援 -未来への提言-
2	4	Saki Mizutani	水谷 沙希	医療	カンボジア国民の貧困の改善のために -政府による生活の質の保証-
2	5	Yujiro Goto	後藤 祐次郎	環工	インドにおける再生可能エネルギーとその導入に向けて -インド12億2千5百万人を救え-
2	6	Keita Kawachi	川地 啓太	ビジ	中国の知的財産権改善を求めて -法整備の観点から-
2	7	Kaho Tsuda	津田 佳歩	教育	カンボジアの都市部と農村部における教育格差の研究 -平等な教育の機会のために-
2	8	Mako Nakamura	中村 真子	開発	JICAの今とこれから -技術協力の有効性と可能性-

## 「SGH課題研究2」 優秀生徒を紹介します！

2年生のSGH課題研究では、各自が設定した課題に対して探究活動を行い、4つの表現方法で成果を発表してきました。以下の表は、各成果物で評価の高かった生徒です。評価にあたっては、生徒のみなさんや先生方がつけたルーブリック評価をもとに総合的に判断しました。

《日本語論文【1】》 7名

《日本語プレゼン【2】》 8名

《英語論文【3】》 6名

《英語プレゼン【4】》 8名

組	番	氏 名	5領域	【1】	【2】	【3】	【4】	備考
3	2	安 藤 祥 太	環工	○	○		○	【最優秀賞】
7	29	津 田 佳 歩	教育	○		○	○	【最優秀賞】
5	5	後 藤 祐次郎	環工	○			○	【優秀賞】
2	37	宮 木 梨 花	医療		○	○		【優秀賞】
3	30	栗 原 雪 乃	開発	○				
4	27	小 澤 実 香	医療	○				
4	32	坂 井 彩 乃	環工	○				
8	35	松 井 佑 果	ビジ	○				
3	24	若 原 央	開発		○			
5	1	井 澤 大	環工		○			
5	37	養 島 瑞 穂	医療		○			
6	8	桐 山 奨 梧	教育		○			
7	13	古 澤 見 凧	ビジ		○			
8	14	山 上 模 士	教育		○			
1	3	市 川 祐 大	環工			○		
1	26	金 森 愛咲美	開発			○		
3	19	水 谷 彰 斗	環工			○		
8	9	早 野 達 貴	ビジ			○		
1	5	伊 藤 駿 介	環工				○	
2	7	児 玉 武 史	開発				○	
4	40	水 谷 沙 希	医療				○	
6	7	川 地 啓 太	ビジ				○	
8	32	中 村 真 子	開発				○	

※ 複数項目で高評価だった4名の生徒は、終業の行事で校長先生から表彰していただきます。